

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1142	(H.24)No.	1142
-----------	------	-----------	------

事務事業名	基礎学力向上支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	和南 義一	

会計区分	事業コード	465101
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	基礎学力向上支援事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	基礎学力向上支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施 策	1	学校教育
	小 施 策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
国の調査に上乗せし、全国学力・学習状況調査及び標準学力調査を実施することにより、各校の強み・弱みを把握する。また、課題を抽出し基礎学力向上に取組むことで、全ての児童生徒の学力の保障をめざす。
事業内容
義務教育期間中に、全ての児童生徒の学力が保障できるようにするため、国の調査に加え、市単独で小学校4年生で国語・算数・理科、中学校1年生で国語・数学・理科の標準学力調査を毎年継続的に実施している。また、児童生徒の体力の実態と課題把握のために新体力テストを実施し、体力向上に向けた取組を進める。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学力・体力」調査活用検討委員会(年間5回開催) ・交流会(年間3回開催) ・報償費80千円(外部講師謝金) ・委託料1,323千円(標準学力調査) [小学校:@320円×751人×3教科] [中学校:@320円×627人×2教科,@320円×628人×1教科] 全国学力・学習状況調査 1,605千円 ・消耗品費14千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上アドバイザーによる講演会及び研修会 報償費:@25000円×5回=125千円 ・名張市「学力・体力」調査活用検討委員会(年間5回開催) ・標準学力調査委託料:1,424千円(小学校:@330円×708人×3教科=701千円、中学校:@330円×730人×3教科=723千円) ・新体力テスト委託料:317千円(@220円×1,440人=317千円)

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学力・体力」調査活用検討委員会 ・交流会 ・標準学力調査 ・全国学力・学習状況調査 ・新体力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学力・体力」調査活用検討委員会 ・交流会 ・標準学力調査 ・全国学力・学習状況調査 ・新体力テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学力・体力」調査活用検討委員会 ・交流会 ・標準学力調査 ・全国学力・学習状況調査 ・新体力テスト

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	3,022千円	1,866千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円
内訳(千円)					
国・県支出金	94				
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,928	1,866	1,900	1,900	1,900
人工数					
職員	0.11人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
臨時職員等	0.10人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 1,017千円	3,867千円	3,867千円	3,867千円	3,867千円
+ 総事業費	(0千円) 4,039千円	5,733千円	5,767千円	5,767千円	5,767千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査や名張市学力調査の結果分析を軸に、各中学校ブロックでの重点課題の把握、課題解決に向けた取組や、その情報交流を行い、各校の今後の取組を一歩進めることができた。 ・全ての小中学校(小5・中2)で新体力テストを実施し、子どもたちの体力向上に向けて本格的な取組を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫・改善を図りながら、中学校ブロックでの重点課題の取組を継続する。また、「書く力」の育成に向け、研修会や研究授業等で学力向上アドバイザーの指導を受けるなど、取組を進めていく。 ・新体力テストは全ての小中学校(小5・小3・中2・中1)で実施し、その結果分析により、本市の体力向上に向けた更なる取組を行っていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	「信頼される学校づくりの推進」に向け、自ら学び、考える力を育てる教育への取組の中で、基礎的・基本的な知識・技能はもとより、課題解決する能力の育成を図ることができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
学力調査・新体力テストのデータをもとに、名張市の子どもたちの強みや弱みを洗い出し、弱み克服に向け、研究・研修を進め、指導方法改善に生かすとともに、その取組の成果を名張市学力向上実践交流会で情報交換し、取組検証、次への取組に繋げていく。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

- ・名張市次世代育成支援行動計画
- ・名張市子ども教育ビジョン